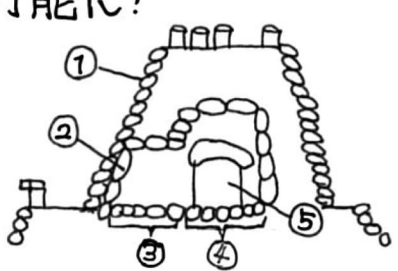


8 後期の古墳

	6c (後期)	7c (終末期)
形状・分布	<p>(1.) : 小型古墳が多数集まる → 有力農民層の墓</p> <p>(2.) : 石室の壁面に絵 ↑ 九洲各地や茨城・福島県など 近畿以外で大型前方後円墳が収束へ</p>	<p>・ 前方後円墳の造営終わる → 一部の豪族層による方墳・円墳の造営は続く (100年ほど)</p> <p>・ (3.) : 墳丘の平面が八角形 → 被装者は天皇・皇子など大王のみ</p>
代表的な古墳	<p>1の代表的なもの</p> <p>(4.) 古墳群 (和歌山県)</p> <p>(5.) 古墳群 (奈良県)</p> <p>2の代表的なもの</p> <p>(6.) 古墳 (福岡県)</p>	<p>龍角寺岩屋古墳 (千葉県)</p> <p>壬生車塚古墳 (栃木県)</p> <p>(7.) : 穴を掘って墓室を作る ↳ 吉見百穴 (埼玉県) が有名 (6~7c に各地に広がる)</p> 
石室	<p>(8.) 石室が一般化 → (9.) が可能に!</p> <p>① (10.) ② (11.) ③ (12.)</p> <p>④ (13.) ⑤ 家形石棺</p> <p>・ 家族墓としての性格を帯びていた</p>	
副葬品	(14.) などの日用品 (←「自らの権力を誇示するもの」から「家族全体のための墓」)	
埴輪	<p>・ (15.) 埴輪の大量増加 → 古墳の周りや墳丘上に並べ葬送儀礼を表現</p> <p>・ 福岡県の (16.) 古墳には埴輪の代わりと考えられる (17.) が立て並べられている。</p>	

問(1) 後期の古墳には、遺体を収める (A) と外界とを (B) でつなく (C) 石室が見られる。
A: () B: () C: ()

問(2) 古墳時代後期には、(D) とよばれる小古墳が多数営まれた。()

9 古墳時代の住居 → 豪族と民衆の分離が明確に!

① 豪族: 集落から離れた場所に濠や柵列をめぐらす (18.) を造営 & 倉庫群

② 民衆: 複数の (19.) と平地住居、(20.) などで構成

※ 19の壁にそれまでの炉に代わって (21.) を設置 → 「環濠」ナシ!

⑩ 古墳時代の生活・風習

- ① 土器：前期から中期の初めまでは弥生土器の系譜を引く(22.)色の土器である
(23.)が用いられたが、5cには朝鮮半島から硬質で(24.)色の
(25.)の製作技術が伝えられた。



- ② 衣服：男性→衣と乗馬ズボン風の袴はかば，女性→衣とスカート風の裳も

- ③ 農耕祭祀：春には豊作を祈る(26.)が、

秋には収穫を感謝する(27.)が行われた！

- ④ 祭祀の対象：円錐形の整った形の山・高い樹木・絶海の孤島などを神のやどる所とした

(例)(28.)を神体とする奈良県の(29.)←本殿がない

「海の正倉院」ともよばれる(30.)を祀る福岡県の(31.)の

大国主神を祀った島根県の(32.)

大王家の祖先神である(34.)を祀る三重県の(35.)

⑤ 呪術的風習

- ・ 鹿の骨を焼き、そのひび割れの形で占う(36.)の法
- ・ 熱湯に手を入れて、火傷の有無で真偽うそを確かめる(37.)
- ・ 穢けがれ[死や血など不吉で汚いモノ]を、川や海に入り水によって心身をすすぎ洗い清める
(38.)や神具や唱え言葉で清める(39.)でのぞくなどの風習があった。

問(1) 古墳時代に作られた、弥生土器の系譜をひく赤褐色の土器は？()

問(2) 5c頃に、朝鮮から伝えられた灰色の硬質陶器は？()

問(3) 鹿の骨を焼いて吉凶を占うのは？()

問(4) 熱湯に手を入れさせて真偽を判断することは？()

⑪ 倭王武の上表文

ゴロ：しなやか武は上表し！

(40.)年 倭王武 [= 41.]は宋の順帝じゅんていに上表した。

→ 武は宋の順帝から(42.)国諸軍事(43.)の称号を得た。

↑ 武は「七国・倭王」を自称したが、(44.)が除かれたため、42となった！

下から上にものを言うこと

興死して弟(45.)立つ。自ら…七国諸軍事(46.)倭王と称す。順帝の
昇明二年、使を遣して上表して曰く、…東は(47.)を征する…西は(48.)を服ね。